

# CUSTOMER STORIES

AJA®  
VIDEO SYSTEMS

導入事例

Century Han Tang社



放送局向けの  
4K HDR 制作環境を実現

CHUANGDONG的  
MacBook Pro



## さまざまなHDR規格とカメラフォーマットを扱う撮影現場で 4K HDRでの制作・モニタリング作業を効率化するAJA製品群が活躍

国営放送局向けに月平均100時間以上のコンテンツを制作および納品している

Century Han Tang 社の制作現場では、AJA製品が多数導入されています。

AJA製品を組み合わせ、マルチカムソースの色調整、色域の変換、カラースタイルの一致、

被写体に当てる光量の調整などにリアルタイムに対応し、

プロダクションへの需要が急増し続けている4K HDR制作を効率化しています。

中国北京の朝陽区を拠点とするCentury Han Tang社は、ローカルテレビ局にレンタル機材の提供や映像制作サービスを提供しています。Century Han Tang社の制作チームは、月に平均100時間以上のコンテンツを制作および納品しており、その大半は中国の国営放送である中国中央電視台 (CCTV) の番組が占めています。

視聴者に最高品質の映像を提供するため、Century Han Tang社は4K HDRでのコンテンツ制作を推進しています。ワークフローはプロジェクトごとに異なりますが、すべての制作現場でさまざまなAJA Video Systems社製品が採用されています。

リアルタイムにHDR/SDRのフレーム同期および変換に対応するFS-HDRや、HDR波形/ヒストグラム/ベクトルスコープのモニタリングツールHDR Image Analyzer、SDIルーター KUMO 3232-12GおよびKUMO 6464、デジタルビデオレコーダーKi Pro Ultra Plusなど、多数の製品が活躍しています。

4K HDR制作における十徳ナイフのようなツールAJA FS-HDRは、さまざまなHDR規格とカメラフォーマットを扱うCentury

Han Tang社に、各制作時にそれぞれが抱えている個別のニーズに応える柔軟性を提供しています。

例えば、色と色域の変換をそれぞれモニタリングする場合、同社はFS-HDRを利用してHLG HDRコンテンツをBT.709のカラースペースにダウンコンバートし、BT.709環境で輝度を調整しています。

Century Han Tang社はARRI AMIRAカメラからARRI Log Cのマルチカム素材をキャプチャーする際に、すべての映像素材を意図したカラースタイルと一致させる作業もFS-HDRで行っています。同社制作チームは、16-bitのファイルでカラーコレクションとノンリニア編集を行い、生成した33ポイントの3D LUTをFS-HDRにインポートしています。

1台のFS-HDRで、4チャンネルの1080p25で収録された映像を扱えます。このFS-HDRを通じて、プログラムアウト (映像のみ、オーディオエンベデッド済み) やマルチビューを含むすべての信号を供給可能です。

Century Han Tang社が最近取り組んだ4K HDR撮影の現場では、

FS-HDRがモニタリング用途で活躍しました。モニターするための予算が限られている撮影現場では、4K HDRプログラムアウトのリアルタイムモニタリングは困難です。

同社では、FS-HDRを用いてUltraHD信号を1080pにダウンコンバートし、カラースペースをHLG BT.2020からガンマ値2.2のBT.709に変換して対応しました。変換後にはFS-HDRのProc Amp (プロセッシングアンプ) 制御機能で、撮影現場でもHLG HDRと同様のカラースタイルでイメージを確認できるようにしました。

Century Han Tang社CTO、Nan Ma氏は次のように述べています。

「FS-HDRは当社にとって、さまざまな課題を解決する頼みの綱であり、非常に低遅延な変換処理が気に入っています。カラースペースの変換や定型の色調整からLUTのインポートと適用まで、すべてを任せられる優秀な製品です。各チャンネルごとにエンベデッドオーディオの遅延時間を設定できる機能には感動しました。1台のデバイスで4チャンネルを個別に処理できるのも大きな強みです。」

制作における全工程でイメージの一貫性を高めるために、Century Han Tang社はAJA HDR Image Analyzerも採用しています。

デジタルビデオレコーダーKi Pro Ultra PlusからのプログラムアウトをHDR Image Analyzerに接続し、4Kモニターへ信号を出力しています。この構成により、HDR環境でも背景や被写体に当たるLEDの光量を調整するだけで、リアルタイムで簡単に信号の品質を制御できるようになりました。

また、被写体に当たる光量の調整によるリアルタイムでの露出制御や、イメージ全体の色域の調整にも対応します。イメージ全体の輝度を判断するためにもHDR Image Analyzerは使用されています。ホワイトレベル参照用に203Nitsを波形モニター (WFM) に追加します。

Ma氏は以下のように述べています。

「当社の制作環境では、HDR Image Analyzerは最も重要なツールのひとつです。直感的で扱いやすいインターフェイスによって、扱う画質の決定や維持が簡単に行なえます。HDR Image Analyzerは画面のレイアウトを変更可能で、色と露出を制御できる堅牢なツールセットや、その他多くの優れた機能を備えています。複雑な4K HDR制作には欠かせない、日々の制作を簡易化してくれる万能な製品です。」

4K HDRコンテンツに対する顧客からの要求が高まり、ハイエンドなプロダクションへの需要が急増し続けている中で、Century Han Tang社はAJA製品の価値がさらに高まると予想しています。

Ma氏は以下のように述べています。

「当社では、定期的にAJA製品を追加導入しています。AJA製品は安定していて使いやすく、一般的に利用される制作フォーマットのほとんど全てに対応しているため、制作現場で活躍しています。AJA製品を導入し試用してみれば、日々直面する制作要求の厳しい現場にも対応できると確認を得られるでしょう。」





FS-HDR



HDR Image Analyzer 12G



Ki Pro Ultra Plus



KUMO 3232-12G



KUMO 6464

本システムに関する問い合わせ先



株式会社アスク  
メディア&エンタープライズ事業部

☎ 03-5215-5676    ✉ me@ask-corp.co.jp  
🌐 www.aja-jp.com